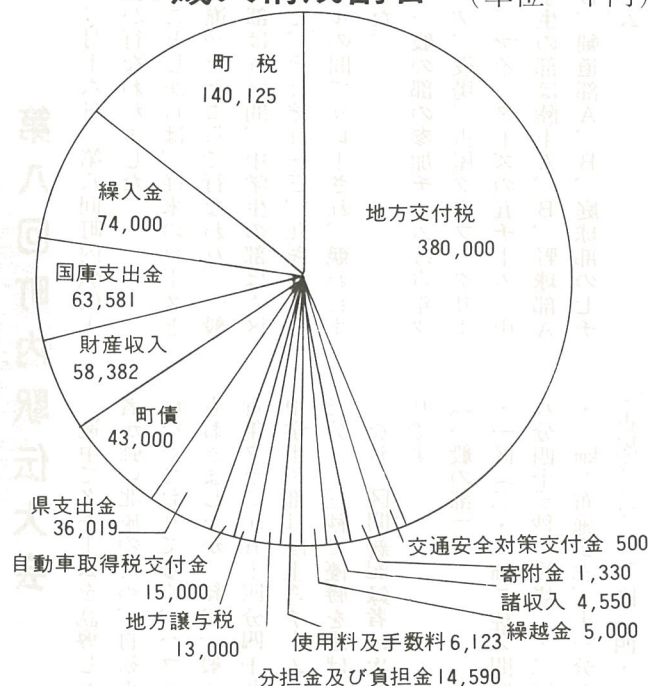
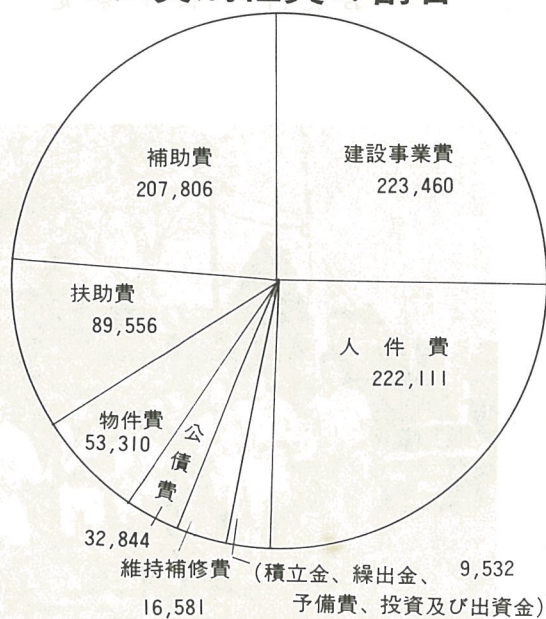


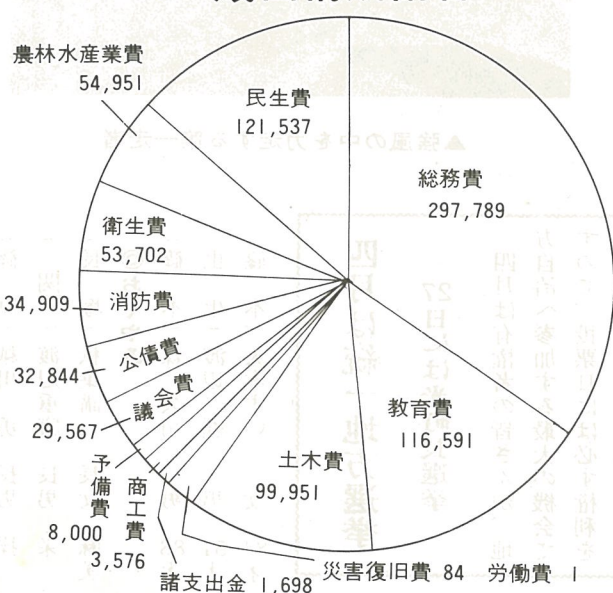
1. 歳入構成割合 (単位 千円)



2. 性質別経費の割合



3. 歳出構成割合



度と比較し二十％、三千一百六十五万四千円の増加ですが、これは主として税及び一般事務の電算業務を行なっている広域市町村圏事務組合に対する負担金五百二十一万九千円、東陽病院一千万円、八匠水道企業団四百五十九万一千円、九十九里水道企業団五百五十一万三千円、環境衛生組合一千万円、東総衛生組合二百六十二万九千円、消防組合二十万円、教育委員会一億一千六百五十九万一千円等の負担金が増加したことによるものです。また扶助費は八千九百五十五万六千円で前年度に比較し一千六百三十八万九千円、十八、三％の

増加であり、これは保育児童措置単価の改定及び老人医療給付費の増加によるものです。

特別会計

〈国民健康保険〉

予算規模は三億五千七十六万八千円で、前年度に比較し四十五、五％、一億九百六十三万二千円の増加となりました。これは保険給付である療養給付費が前年度の二

〈食肉センター〉

予算規模は一億一千一百十八万

八千円で、前年度に比較し二十七％、二千三百六十二万七千円の増加となりました。

歳入では食肉センター使用料を牛馬で現行一頭一、七〇〇円を二五〇〇円、豚、とくの四五〇円を六〇〇円、山羊の三〇〇円を五〇〇円にそれぞれ料金改定するとともに、豚のと殺頭数を前年度に比較し、一万頭増の十四万頭を見込んで計上しました。

歳出の伸びは人件費、施設管理費が大幅に増加したこと、あるいは一般会計への繰出金を三千万円計上したためです。

〈有線放送〉

予算規模は二千三百二十四万三千円で前年度に比較し十二、三％、三百二十四万五千円の減額となりました。

五十年四月からは夜間の公社電話の接続業務を廃止し、人件費の節減のため放送交換員四名の削減を図りましたが、歳出総額に占める公債費が三十五・二％、八百九十九万と多額であるため収支の均衡が図れず、一般会計からの繰入金五十万円を措置しました。